

安倍政権の暴走ストップ 政治の流れを変える年に

新年は、参議院選挙をはじめ、私たちの活動に大きなお力添えをいただきました。

本年は、1月に開催される第26回党大会の

みなさん。新しい年をいかに過ごしていきましょうか。

今年も、人の意見に耳を傾けないのは「馬の耳に念仏」。隠れていた本性や悪事がばれ、国民の声を聞かず、多数を頼みに秘密保護法など、悪法の数を増やした安倍政権。

東日本大震災と原発事故から2年10ヵ月。安倍政権は、「完全にブロックされている」という汚染水問題の発言も撤回せず、消費税

100万馬力で頑張ります

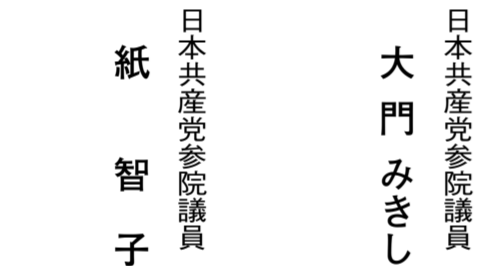
増税と社会保障の負担増、復興の努力を水の泡にするTPP交渉を進めています。

安倍政権の暴走に対して、各界、各層から多くの人々の反対の声が広がっています。これは、国民の「政治を良くしたい」という願いの表れであり、平和と民主主義を求める巨大なエネルギーを日本国民が持っていることを証明するものです。

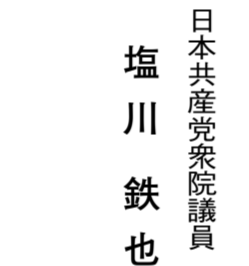
日本共産党は、安倍政権の暴走に正面から対決するとともに、さまざまな分野の国民運動との共同を強め、政治の流れを変えていく



紙智子
日本共産党参院議員



大門みきし
日本共産党参院議員



塩川鉄也
日本共産党衆院議員



石嶋力夫
1957年生まれ56歳
東京農業大学卒業
元都賀町議4期
党県委員、
党南部地区常任委員



白石みきお
1954年生まれ59歳
宇都宮大学工学部卒業
旧栃木市議2期、
新栃木市議1期目
党南部地区常任委員

栃木革新懇が新年会

栃木革新懇は12日、宇都宮市内で新年会を開き、構成団体の代表や個人など約30人が参加しました。

岸田千代事務局長代理は、秘密保護法を強行成立させ、野村せつ子副委員長ら普天間基地の県外移設を求める沖繩県民の意思を無視する安倍政権

を厳しく批判。「悪政をストップするために頑張ろう」と呼びかけました。

日本共産党委員会は、2議席の実現で、合併により低下した「市民サービス」を元に戻し、さらに充実させ、くらしと福祉優先の栃木市政の実現を訴えています。

栃木市議選 白石みきお氏現候補者発表 石嶋力夫氏新

4月24日任期満了にともない4月13日告示、20日投票で実施される栃木市議選(栃木選挙区定数30)で、日本共産党は、現職の白石幹男氏(59)と新人で元都賀町議の石嶋力夫氏(56)を擁立し、複数定数30の栃木選挙区、岩舟地区は定数4の岩

消費税増税は中止に 各地で新春宣伝



声援に応える(右から)荒川、福田、野村、田部の各氏

県内の日本共産党は、今年3・4月に中間選挙がある市町をはじめ、宇都宮市などで新春の街頭宣伝を行い、住民の要求実現に奮闘する決意を訴えました。

宇都宮市では、野村せつ子副委員長(前県議)と荒川恒男、福田久美子両市議、田部明男市政対策委員長が2日、市内全域を回り、消費税増税の中止を呼びかけました。



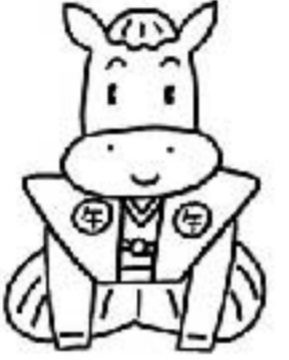
日本共産党栃木県委員会
発行人 小林年治
〒321-0167
栃木県宇都宮市東浦町21-12
電話 028(658)4302
FAX 028(658)4374
発行日 毎月第3日曜日
1ヵ月100円

新年にあたって

諸決定を力に秘密保護法の撤廃、消費税増税反対、原発ゼロ、TPP反対などさまざまな分野の運動に力を注ぎつつ、強く大きな党をつくるために全力をあげてまいります。

また2015年のいっせいで選挙と今年たたかわれる市議選、町議選の勝利のために奮闘する決意です。

皆様のご多幸を祈念いつそのご支援をいたしますとともに、ろしく願います。



小林年治
県委員長

くらし・福祉中心の県予算に 県来年度予算・施策の 要望書を提出——党県委

日本共産党栃木県委員会の小池一徳県書記長と野村せつ子副委員長(前県議)は10日、2014年度県予算と施策に関する重点要望書を福田富一知事あてに提出しました。

要望書は、県政世論調査(2013年10月発表)で、「くらしが良くなった」と回答した県民が9.1%と1割を切る一方、「悪く



要望内容を秘書課長に説明する野村(中央)、小池(左)の両氏

県民のたたかい、 年頭から広がる



新年の県都・宇都宮市で、安倍内閣の暴走政治に対する反撃が始まりました。参加者の意気込みは高まっています。

原発ゼロを求める金曜日行動は10日にスタート。宇都宮市の二荒山神社前で毎週金曜日夜6時から取り組み

「秘密保護法はいらない! ネットワークとちぎ」は8日、

大通りの交差点周辺に横断幕を掲げました。通行人が飛び入りで参加するなど、同法の撤回を求める声が続々と広がっています。

毎週水曜日を行動デーとしてたたかいを広げていることになっています。

原発再稼働ストップ 国会包囲大抗議行動

原発ゼロ栃木の会

原発ゼロ栃木の会は、16日、東京日比谷音楽堂で開かれた首都圏原発連合主催の集会写真と国会包囲行動に参加。1万5千人の参加者とともに「原発再稼働許すな」の声をあげました。

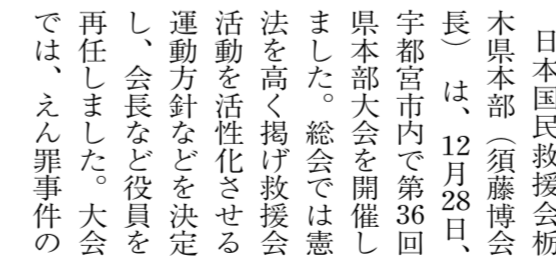


集会に駆けつけた栃木県の代表団

国民救援会が 県本部大会開く

日本国民救援会栃木県本部(須藤博会長)は、12月28日、宇都宮市内で第36回県本部大会を開催しました。総会では憲法を高く掲げ救援会活動を活性化させるに断固抗議する決議を採択しました。

大会では、えん罪事件の



仙台筋弛緩剤事件の木原本部長(左)と須藤博会長(右)の握手